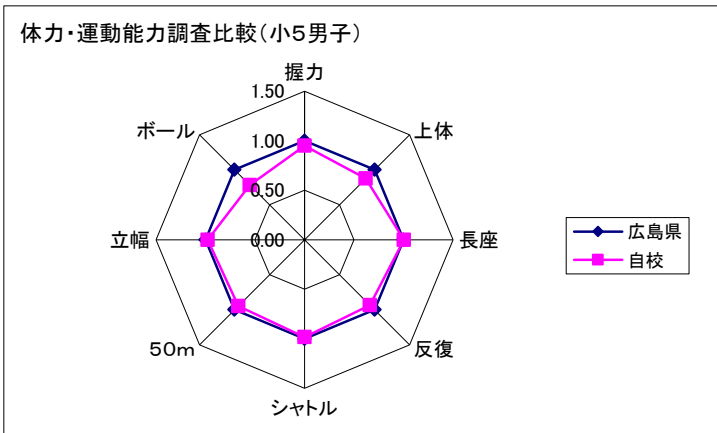
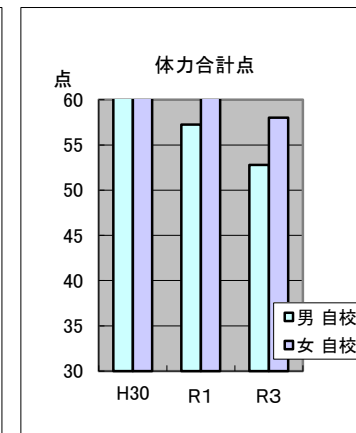
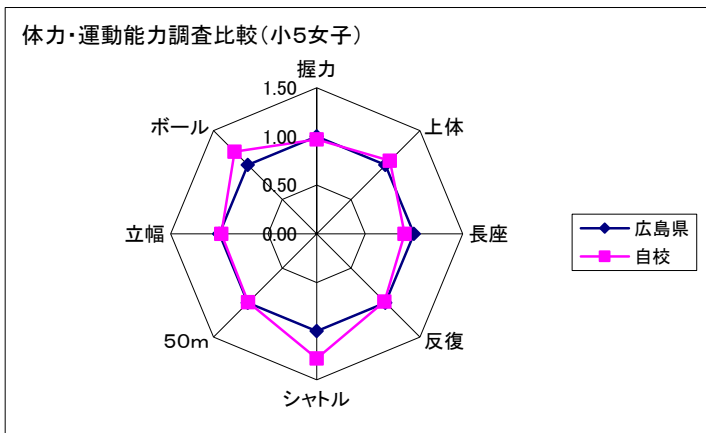


男子の体力合計点 学校 52.8 点 県平均 55.16 点



女子の体力合計点 学校 58.0 点 県平均 57.06 点



R3体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)  
 ・6学年男女別の12の記録のなかで、県平均を上回った記録が7、下回った記録が4、同等が1であった。  
 ・男子と女子を比較すると、男子は6学年中3学年、女子は6学年中4学年が県平均・全国平均を上回っている。

②(シャトルラン)  
 ・県平均・全国平均を上回った学年は男子で3学年、女子では5学年であった。  
 ・1回目5月、2回目11月の記録を比較すると、2回目の記録が下降傾向になった。

③(ソフトボール投げ)  
 ・5月の1回目から11月の2回目に向けて、投力の向上に努めた結果、全学年で記録の向上が見られた。  
 ・11月の2回目では、6学年男女別の12の記録のうち、9の記録で県平均・全国平均を上回った。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業での準備運動や補強運動のなかに、スタートダッシュなどの短い距離を速く走る運動を取り入れる。</li> <li>・校内での体力向上研修で学んだ内容を体育の準備運動や身体感覚育て等に活かし、走力の向上につなげる。</li> <li>・年度末から来年度始にかけて、リレー・短距離走等の走・跳の運動を組む。</li> </ul> <p>具体的な数値目標 (男子0.6秒、女子0.3秒短縮)</p>
②中学校区の課題種目 (シャトルラン)	<p>具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年毎の目標設定やカード活用の見直しをして、体力づくりタイムへの意識を高めることで、走力・持久力の向上につなげる。</li> <li>・ロードレースに向けて、体力づくりタイムで3分間走に取り組む。</li> <li>・ロードレースに向けての取組と並行して、縄跳びの持久跳びなど持久力の向上につながる運動を積極的に取り入れる。</li> </ul> <p>具体的な数値目標 (男子+4P、女子 現状維持)</p>
③自校の課題種目 (ソフトボール投げ)	<p>具体的な取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の体育授業で行う準備運動のなかに投力の強化につながる運動を組み込む。</li> <li>・シャトルスローなどの投力系のチャレンジマッチを積極的に活用する。</li> <li>・テニスボールなど使った教具を工夫して、投力の練習に生かす。</li> </ul> <p>具体的な数値目標 (男子+5m、女子 現状維持)</p>

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)

令和2年度の重点課題

- 新体力テストの総合評価のAB率47%、DE率23%である。（(AB+DE)率24%）
- 新体力テストの結果は、学年間で大きなばらつきがある。多くの学年でソフトボール投げが県平均を下回っている。自校課題をソフトボールに設定した。
- 20mシャトルランは、県平均を上回る学年が少なく、中学校区の課題として設定された。
- 早起きは、98%、早寝は85%の児童ができています。睡眠の大切さについて知らせ、「早寝」のさらなる習慣化が必要である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「走力」を高めるため、体育の授業の導入部分で行う準備運動や補強運動のなかに、スタートダッシュなどの短い距離を速く走る運動を取り入れた。
- 児童が意欲をもって、取り組めるように、新体力テストのやり方や学年男女別の自分たちの記録と県記録を比較する掲示を行うコーナーを設けた。
- 児童会の体育委員会が主体となって、休憩時間に一輪車や竹馬などの遊びを奨励した。
- 「投力」を高めるために、テニスボールなどを使った教具を工夫して、練習を行った。
- 柔軟性を高めるため、家庭でストレッチを行い保護者がチェックする「チャレンジ10」を作成した。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.73	17.73	34.45	40.22	41.71	9.76	153.00	17.91	52.83	第5学年	16.00	20.55	34.64	40.55	53.25	9.55	146.64	17.09	58.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.73	17.73	34.45	40.22	41.71	9.76	153.00	17.91	52.83	第5学年	16.00	20.55	34.64	40.55	53.25	9.55	146.64	17.09	58.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	72.7	18.2	0.0	9.1	第5学年	81.82	18.18	0.00	0.00

学校独自の意識調査

- 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。のアンケートによる結果は、(好き・やや好き)肯定的評価は、学校全体では95%。(やや嫌い・嫌い)否定的評価は5%である。学年別でみると、各学年1~2名の否定的評価者がいる。4年生は、全員が運動好きである。
- 1日の活動時間が30分未満の児童が、一定数存在し、肥満傾向の児童の割合も高い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して準備運動(10分~15分)の中に、スタートダッシュなどの短い距離を速く走る運動を取り入れる。
- ・スタート練習(体育座りから、前後・寝転がった姿勢から等)
  - ・5割ダッシュから全力疾走へ
  - ・しっぽとり
  - ・ねずみとねこ 等

体育の授業以外で行う取組内容

- ・学校行事として、地域行事と連携し、ロードレース大会を開催し、12月以降は、持久走での体力づくりの時間を設ける。(年間を通して、体力の向上を図る。)
- ・週に1回、水曜日昼休憩で、「学級遊び」を学級ごとに実施する。
- ・大休憩に、「ボール型ゲーム」を学級ごとに実施する。
- ・体育委員会を主体として、一輪車・竹馬遊びを奨励する。
- ・**全児童を対象とした意識調査を実施する。**

重点課題

情意面での課題

- 男子  
・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が6%である。
- 女子  
・運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合が5%である。
- ・ややきらい、きらいと答える男子と女子の割合に、差はない、全体的には、運動好きな児童が多い。

体力面での課題

- 男子  
・「50m走」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 女子  
・「50m走」、「20mシャトルラン」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い学年がある。
- 全体  
・1日の運動時間が30分未満の児童が一定数いる。

令和4年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがややきらい、きらいと答える児童の割合を、**男女とも3%以下**にする。
- **1日の運動時間が30分未満の児童を0%にする。**
- 「50m走」を県平均値以上にする。
- 「20mシャトルラン」で県平均値、全国平均値を上回る。
- 「ボール投げ」については、前回の学年平均値を上回るようにする。